

熊本大学法学部地域公共人材クラス

地域公共演習Ⅰ第6回（11月7日） 活動紹介

熊本大学法学部地域公共人材クラス生が履修する1年次後期の地域公共演習Ⅰにおいては、地域の経済を学ぶ機会を設けています。第6回講義も、第5回講義に引き続き、熊本銀行ソリューション営業部門からゲストスピーカーをお迎えし、「地域経済と事業承継・M&A」に関する講義を受けたあと、事業承継・M&Aに関する事例問題に取り組みました。これまでM&Aについてあまり関心を持っていなかった多くの学生たちですが、地域の企業を守るスキームとしてのM&Aに興味を持つことができたようです。



事業承継とM&Aは、企業活動の継続するための経営者・所有者の交代を実現するための重要なスキームです。親族内承継を事業承継、親族外承継で利用されるのがM&Aと切り分ける理解もありますが、所有者・経営者の交代を伴って事業活動を継承する手法という点では同じです。熊本銀行の先生方が述べられていたように中小零細企業でもM&Aの主体・対象となりうるのであり、むしろその選択を間違えれば、企業は事業活動維持ができなくなり、そしてその企業が活動してきた地域社会にも大きな影響を与えることになります。



法学部地域公共人材クラスに所属する学生の多くは、地域貢献・地方創生に役立つ人材になりたいという高い志を持って学んでいます。ただ、入学時点で、彼らの多くが思い描く「地域」「地方」は曖昧で抽象的なものにとどまっています。守るべき地域・地方とは何か。それを少しずつ具体的に理解し、さらにその地域・地方に対して自分ができること・やりたいことは何かを明確化するために、地域や地方とそこで営まれる様々な活動に関わる各種の知識を増やし、深めていく。法学部地域公共人材クラスでは、そのための様々な学びの機会を提供しています。ここで取り上げた地域公共演習Ⅰでは、地域の企業活動を学ぶため、ゲストスピーカーによる講義、企業研究とその成果発表としてのプレゼンテーションを実施します。